

<記号の見方>

難易度(その学校の受験生にとってのレベル) A・・・標準 B・・・難しい C・・・とても難しい  
 要求される能力 A・・・処理能力(多量速解型学習で対応できる問題) B・・・思考力(少量熟考型学習でないと対応できない問題)  
 目新しさ A・・・普通 B・・・目新しい C・・・斬新

学校名 筑駒 時間40分					
		分野	難易度	要求される能力	目新しさ
大問1	(1)	平面図形(面積比)	A	A	A
	(2)	平面図形(面積比)	A	A	A
	(3)	平面図形(面積比)	A	A	A
大問2	(1)	条件整理(正方形の切断)	A	B	A
	(2)	条件整理(正方形の切断)	A	B	A
	(3)	条件整理(正方形の切断)	A	B	A
大問3	(1)	条件整理(折り返し)	A	B	B
	(2)	条件整理(折り返し)	A	B	B
	(3)	条件整理(折り返し)	B	B	B
大問4	(1)	グラフ(水量の変化)	A	A	A
	(2)	グラフ(水量の変化)	A	A	A
	(3)	グラフ(水量の変化)	B	B	B

昨年度の問題との比較

レベル ↓ 合否に必要な得点率85%

合格最低点 非公表

コメント

去年までは斬新で面白い問題も出されていましたが、今年はそういう問題が1問もありません。

大問1 単純でありきたりな問題です。

大問2 平成12年度の開成の大問3と同じです。今年の筑駒受験生のほとんどは一度は解いているはずですが、作問者は他校の入試問題には目を通さないのでしょうか？

大問3 ちょっと書き出せばすぐに規則が見つかります。(3)はもう少し数を大きくした方がよかったですと思います。

大問4 グラフをかきさえすれば解けます。筑駒のトリを飾る問題としてふさわしいとは言えません。

合否を分けた1題 大問4